

2 目標達成計画

事業所名：社会福祉法人憲幸会グループホームさくら

作成日：平成30年2月8日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合ったものです。また、課題等は、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を掲げております。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	利用者の重度化による終末期へ向けての早い段階から、ご家族を含めた話し合いと、それに伴ったチームケアの共有と周知が明確化されておらず、不十分である。	終末期に向けた、ご本人及びご家族のニーズの共有と、早めの医療連携の体制を構築し、チームケアのレベルアップを図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・協力医療機関(まごころ病院)へのかかりつけ医の変更(ご家族との話し合いにより、場合により訪問看護や訪問診療の導入を検討する。) ・終末期に向けてのチームケアの在り方と知識の共有 ・常日頃より医療連携の体制をとる ・利用者の状態把握に努める 	6 か月
2	19	利用者のご家族が遠方の方が多く、利用者、家族、職員、それぞれの繋がりが薄く連携を図れず、疎遠がちとなっている。	利用者のご家族との繋がりを結び、共に利用者ご本人を支えていける密な関係作りを行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・憲幸会(法人全体)家族の会の発足 ・GHさくら月1回の広報誌の発行(ご家族宛) ・利用者、ご家族を含めた食事会や外出 ・遠方のご家族との電話連絡(利用者を含め) 	6 か月
3	31	日頃より、看護師(施設内他事業所、訪問看護)との連携と情報共有が不十分である事が多い。	看護師との連携を密にし、日頃より利用者の状態把握に努め、明確に相手方(看護師)に伝えることが出来るよう体制を構築する。	<ul style="list-style-type: none"> ・看護師との連携を図り、情報の共有を図る。 ・チームケアとしての医療連携体制を整え、カンファレンスを行いながら意思統一を図る 	6 か月
4	29	事業所と地域の繋がりが薄く、一人ひとりの社会資源の活用にも反映されていない。	地域の方々との交流の場を持ち、一人ひとりが地域に根付いて、その方らしく暮らせる支援体制の構築と互いに顔の見える関係作りを行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・GHIにお招きし食事会等を通じた情報交換の場を設ける ・GHさくらを地域に発信し、地域行事に積極的に参加し交流を深める ・運営推進会議の有効活用 	6 か月
5	18	職員と利用者の信頼関係がなかなか深らず、ケアに上手く反映されていない。(介護拒否がみられる等)	利用者のニーズを見極め、その方に寄り添った家族に近い関係作りをおこなっていく。	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃からのコミュニケーション、声掛けの工夫 ・チームケアとしての情報交換、共有、状態観察 ・年中行事や誕生会など、季節を感じるこのでできる行事や外出を含め、共に喜べる関係作りを行う 	6 か月